

各種調査結果に基づく計画目標と実施項目(案)

【地域特性・交通特性】

- ・高齢者:人口増加、**高齢化率の増加**
- ・高校生:人口減少、地域外への通学者が多い
- ・通勤:高知市への就業者が約1万人
- ・バス利用:減少傾向(高知県全域)
- ・鉄道利用:減少傾向(土佐くろしお鉄道全域)
- ・空港利用:H23以降輸送人員増加(高知龍馬空港・国内線)
- ・高速バス:県全体で増加傾向(特に京阪神、岡山、徳島)
- ・道路:南国安芸道路(整備中)
- ・鉄道:阿佐海岸鉄道 DMV
- ・計画:県・各市町村の上位計画との整合が必要

【高校生アンケート】

- ・移動特性:約4割の学生が地域外(高知市、海陽町)の高校に通学
- ・交通手段:約6割の学生が通学に自転車を利用。市町村内は自転車のみ、市町村外は**鉄道・路線バスとの併用**が多い
- ・約2割の学生が**車[送迎]**により通学。海陽町、田野町への通学者(毎日送迎:約3~4割)
- ・雨天時は、自転車から車[送迎]への変更が多い
- ・鉄道利用者は通学に時間を要する傾向
- ・不満:通学に公共交通を利用しない人の約2割は、公共交通への不満が理由
- ・**「運行本数」、「運賃」、「混雑度」**に対する不満が高い

【来訪者アンケート】

- ・来訪者属性:**2回目以上**の訪問者が多い
- ・移動手段:公共交通で県内に訪れた人でも、地域内移動手段はレンタカーが最多
- ・公共交通に対する不満:**「運行本数」**に対する不満が高い
- ・見直すべき点についても、1日の運行本数を重視する人が最多
- ・高知龍馬空港へのアクセス:現行の**乗合タクシーは、約8割が存在を知らない**
- ・**後免駅・のいち駅方面の連絡バスがあれば利用したいという人が約5割**

【高齢者アンケート】

- ・外出頻度:週に3、4日以上外出する人が約7割。75歳以上になるとほぼ毎日外出する人が4割以下。
- ・外出の目的・移動手段:目的は買い物が最も多く、次いで通院が多い
- ・移動手段は自家用車が多いが、通院・買い物はバスの利用者もみられる
- ・公共交通に対する不満:**「運行本数」、「乗り継ぎ」、「待合設備」**に対する不満が高い
- ・鉄道に対する不満は路線バスに比べて低い
- ・行政支援:約9割は公共交通に対する行政支援が必要と認識
- ・公共交通の改善点:**「運行本数の増便」、「公共交通への乗り換えに使える駐車場の整備」**の回答が多い

【乗降調査】

【路線バス乗降調査】

- ・高知線:
 - ・朝夕は**通勤・通学利用**、日中は**高齢者の利用が多い**
 - ・休日は通学以外での利用者数が半減
- ・室戸・甲浦線:
 - ・朝の安芸方面、夕方の甲浦方面の便は**通学利用が多い**
 - ・室戸~甲浦間の利用者が少ない
- ・馬路・魚梁瀬線:
 - ・1便あたり利用者数は多くても10人程度
 - ・馬路~魚梁瀬間では利用者がほとんどみられない
- ・鉄道平行区間でのバス選択理由:
 - ・「家や目的地からの距離」が多い

【鉄道乗降調査】

- ・利用属性:
 - ・主な利用者は通勤・通学客であり、利用者の5割以上は22歳以下
 - ・**安芸・のいち⇄後免・高知間の利用者が多い**
 - ・バスに比べ、利用者に占める高齢者の割合が低い
- ・バス平行区間での鉄道選択理由:
 - ・バス選択者に比べ、鉄道の利便性・快適性を理由とする人が多い

【市町村アンケート】

- ・公共交通利用者への支援施策はほとんどの自治体を実施。特に、高齢者・身体障害者向けのタクシー助成制度を実施している自治体が多い
- ・公共交通専任の担当者を置いている自治体は0
- ・多くの自治体では、兼任担当者が1人で業務を行っている
- ・また、5つの市町村が、専門部署がないことや担当者不足を課題点として認識している
- ・公共交通に関連する計画を市町村単位で策定している自治体は2つ
- ・策定予定のない自治体も4つ存在
- ・「利用者の減少もしくは伸び悩み」、「事業者の人員不足」に対しては、多くの自治体が交通資源の課題点として認識している

【事業者ヒアリング】

【土佐くろしお鉄道】

- ・通勤、通学にあわせたダイヤ設定の要望あり
- ・鉄道とバスの乗継の改善要望があるが、奈半利駅で接続できるようにしているため、奈半利駅から安芸方面では並走せざるを得ない状況
- ・高知龍馬空港の利用者限定の乗り放題券を販売しているが利用が少ない。
- ・運転手の不足より、駅員や車両の検査員が不足
- ・パークアンドライドの取組を進めていきたい。
- ・観光客の確保にも力を入れていきたい。

【高知東部交通】

- ・安芸~高知では高校生の利用が多く、野市周辺からの乗降が多い。
- ・安芸~甲浦では、佐喜浜~甲浦にかけてバス利用が少ない状況
- ・安芸~魚梁瀬では、毎日ではないが通院利用の高齢者が利用
- ・運転手は高齢化しており、募集しているが、難しい状況
- ・乗継拠点の整備にあたっては高齢者の移動のしやすさや雨に濡れないようにする配慮が必要
- ・自治体のまちづくりと連携することが重要

計画目標1:市町村内・地域内・地域外のそれぞれの移動ニーズにあわせた公共交通ネットワークの再構築

- ・地域の特徴を踏まえた輸送手段の設定
- ・利用実態に即したダイヤの再編

計画目標2:異なる交通モード間のスムーズな乗換環境の整備

- ・主要な拠点の乗り場環境の改善
- ・パークアンドライドの利用促進策の展開
- ・乗り継ぎ時の運賃の見直し

計画目標3:地域の観光資源を生かすための公共交通利用環境の改善

- ・高知龍馬空港へのアクセス性の向上
- ・公共交通に関する情報提供(路線、時刻、フリーパスなど)の改善

計画目標4:持続可能な公共交通運行に向けた交通資源の適正化

- ・車両と労働力の確保と運用の効率化
- ・輸送密度にあわせた車両規模の見直し

計画目標5:新たな公共交通利用者確保に向けた利用促進策の実施

- ・まちづくりと連携した交通結節点の整備
- ・交通弱者(学生・高齢者)にも利用しやすい運賃の設定
- ・新規の利用増が見込める新駅整備の検討